

くすのき

Kusunoki
市立四日市病院ニュース



発行 令和8年3月23日

市立四日市病院くすのき編集委員会

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/hospital/>

29



Contents

- 院長メッセージ
- がん化学療法看護認定看護師 活動紹介
- お薬の話 進歩する糖尿病治療薬と知っておきたい注意点
- 最新 MRI 技術：迅速・快適・高精度な診断
- 病院食 こんだてじまん
- もの忘れの治療は変わる？～抗アミロイドβ抗体薬～
- 医療と福祉 “ほっと” ニュース（ウィッグや乳房補正具などの購入費用の助成）

院長メッセージ

2025年4月1日より四日市市病院事業管理者を拝命し、同時に市立四日市病院院長も兼任することになりました蜂須賀丈博です。個人的な話になりますが、私が当院に赴任したのは1993年1月1日で、今年で33年目となります。自分自身の医師としての大半を過ごし、お世話になった当院及び当地域の皆さんへの感謝の気持ちを込め、病院の改善に努めるとともに、三重県北勢地区の医療の質向上のため全力を挙げていきたいと考えています。

最初に当院の特徴について整理してお話しします。当院は、北勢地区最大の基幹病院であり、3次救命救急センター、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域医療支援病院などの指定を受けています。また、医学教育の面では、初期研修において医科15名、歯科1名を受け入れています。専門医研修においては、内科、外科、麻酔科、整形外科の基幹病院であり、その他の科の多くは名古屋大学、三重大学、名古屋市立大学の連携施設として若手医師の専門研修指導を行っています。施設面では、スーパーICU、HCU、MFICU、NICU、救命救急センター（ER）、高精度放射線治療施設などを備えています。特に、スーパーICUは、完全な麻酔科医による管理が2024年度より達成されており、質の高い医療が可能であると同時に、専門科医師の負担軽減に寄与しています。以上のように、施設面、人材面においても以前に比して非常に充実してきています。現在この体制を24時間365日キープし、皆さんの健康を守り、安心を届けるため、1000名以上のスタッフが日夜業務に励んでいます。

ところで、皆さんは深夜何人のスタッフが当院を守っているかご存じでしょうか。深夜勤務の医師はERをはじめ計9名、看護師は病棟に60名以上とERに数名、ほかに薬剤師、放射線技師、臨床工学士各1名があり、準夜勤務も含めると優に100名超のスタッフが勤務しています。また、各診療科に最低1名ずつの医師が自宅待機で緊急対応に備えています。このような形で、いかなる緊急事態にも対応できる体制を整えています。同時に職員の健康を守るような勤務体制の確立も重要です。労務管理に問題がないようにと、近年働き方改革が叫ばれていますが、当院ではいち早く夜間当直から夜間勤務への切り替えを行い、夜間勤務翌日はほぼ休日とする体制となっています。

一方、病院の経営状態は周知のとおり決して満足できるものではありません。特に2024年の診療報酬改



四日市市病院事業管理者・院長 蜂須賀 丈博

正は非常に厳しいものであり、給与改正や物価上昇が重なり公立病院のほとんどが赤字となっている現状があります。しかしながら、われわれは立ち止まることは許されません。そのために、病院スタッフの負担軽減のための医療DX推進は必須と考えています。特に最近進歩が目覚ましい医療生成AIは、今年度導入に向けて全力を進めているところです。導入後には、煩雑な書類作成が半分以下の手間で行えるようになるはずで

当院が現在の施設に移転し60年を迎える2039年春に向けて、新病院の建築計画がスタートしています。膨大な費用がかかりますが、救急医療の最後の砦としての当院の価値は不変であり、必ず成功させなければならぬ数十年に一度のビッグプロジェクトです。ハード面の議論は私の責任において着実に進めさせていただきますが、その際に最高の医療を提供するソフト面を担うのは病院職員一人ひとりであり、職員一同目標に向かって、どこにも負けない質の高い医療を磨き上げていく所存です。

病気はいつ発症するか、誰にもわかりません。老年期に発症する脳卒中や心筋梗塞、悪性腫瘍はだれもが知る疾患ですが、頻度は少なくとも致死的になる疾患は無数に存在します。また、小児の急性期疾患や出産に伴い母子が危険にさらされる状況は日常茶飯事です。健康で若い方でも、事故や外傷により命の危険が迫ることもあります。当院は、「生まれるいのち 助けるいのち よっかいち」を掲げ、生命のいかなる危機的な状況に対しても対応できる体制と知識及び経験のあるスタッフが24時間365日皆さんを守っていきます。

今後とも、最高の安心、安全な医療を四日市地域の市民の皆さんに提供できる病院であり続けられるよう努力していきますので、我々の活動に対してご理解とご協力をたまわれたらと考えています。今後とも、市立四日市病院をよろしくお願いいたします。

がん化学療法看護認定看護師 活動紹介



嶋野 かおり

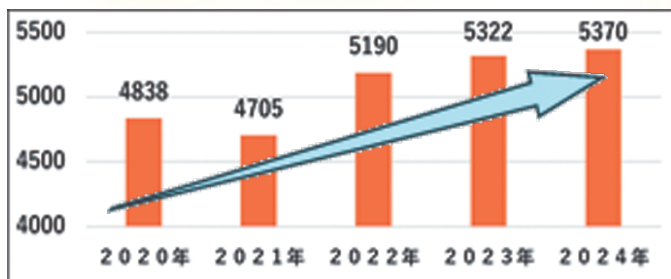


がん化学療法看護認定看護師とは

日本看護協会が認定する資格のひとつで、抗がん剤治療を受ける患者さんご家族が安心して治療を続けられるよう、専門的な知識と技術をもって支援する看護師です。私は血液内科病棟で勤務していた際、抗がん剤治療を受ける患者さんの看護をもっと深めたいと思うようになりました。治療に伴う副作用や不安に寄り添い、安全で安心できる看護を提供するためには、専門的な知識と技術が必要だと感じました。その思いから、2013年にがん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。

外来化学療法

近年、抗がん剤治療は入院から外来へと移行が進み、患者さんがご自宅での生活を続けながら治療を受けられるようになってきています。副作用への対応や体調管理のサポートが重要となる中、看護師による支援の役割もますます大きくなっています。現在 25 床ある当院の外来化学療法室では、年間約 5,000 件の治療を行っており、多くの患者さんが安心して治療を受けられる体制を整えています。医師・薬剤師・看護師が連携し、患者さん一人ひとりの状態に合わせたきめ細やかな支援を行うことで、安全で質の高い治療環境の提供に努めています。



過去5年間の外来化学療法件数推移

がん化学療法看護認定看護師の活動

現在は外来化学療法室に勤務し、患者さんが安心して通院治療を続けられるよう支援しています。具体的には、副作用への対応やセルフケア指導を行い、患者さんご家族の不安や疑問に耳を傾けながら、安全な治療環境を整えることを心がけています。また、医師・薬剤師・看護師とのチームで、情報共有や連携を通じて治療の質向上に取り組んでいます。さらに、院内看護師に対する研修や指導、相談活動を通じて、看護師一人ひとりが自信を持って化学療法に携われるよう支援しています。

最後に

がんと診断され、患者さんご家族は様々な不安を抱えていると思います。そのような中で、少しずつでもその人らしく生活することができるように、治療や副作用について支援したいと考えています。近年、新しい薬剤がたくさん増えていき、知識をつけていくことと、常に笑顔で患者さんと一緒に考え寄り添うことを大切にしたいと考えています。今後も、患者さんが「ここで治療を受けてよかった」と感じられるよう、チーム一丸となり取り組んでいきます。



お薬の話 25 進歩する糖尿病治療薬と知っておきたい注意点

みなさんは、糖尿病のお薬がどのように進歩してきたかご存じでしょうか。糖尿病の治療に使われるお薬は、この数十年で大きく姿を変えてきました。昔は治療の選択肢が今ほど多くなく、使える薬も限られていましたが、いまでは患者さんの生活スタイルや合併症のリスクなどに合わせて、多くの種類から治療を組み合わせることができるようになっています。たとえば飲み薬ですと、食後の血糖値の上昇をゆるやかにする薬、血糖値によってインスリンの分泌を調節してくれる薬、腎臓や心臓を守る効果が期待できる薬、体重管理にも役立つ薬など、目的に合わせてさまざまな作用をもつお薬が登場しました。また、インスリン治療も大きく進歩しています。これまでは1日数回、決まった時間に注射を続ける必要があるのが一般的でしたが、近年では“週1回で使えるインスリン製剤”が登場し、話題となっています。



一方で、どんなに良いお薬でも、正しく使うことがとても大切です。特に、手術や検査を受けるときには一時的にお薬を調整する必要がある場合があります。手術のストレスや絶食などによって血糖値を調整するホルモンの働きが変化し、低血糖や高血糖、意識障害につながるおそれがあるためです。これらを予防するために周術期（手術前から術後回復期までの期間）は休薬または注射・点滴に切り替えて血糖管理を行います。当然、糖尿病のお薬の中にも術前に注意が必要な種類があります。たとえば、SGLT2 阻害薬というお薬は、尿と一緒に糖を出す働きがあり、手術前後の体調変化が重なると水分不足や血液のバランスの乱れにつながる場合があります。こうした危険を避けるため、手術の3日前から休薬することがあります。

また、血糖コントロールに影響するお薬は、術後に調整が必要になる場合もあります。手術が決まったときには、必ず医師や薬剤師に使っているお薬をお知らせいただくことがとても重要です。

そして近年、話題になっているのが「GLP-1 製剤」という新しいタイプの糖尿病治療薬です。もともとは血糖値を下げるために開発されたお薬ですが、胃の動きをゆっくりにしたり、食欲を抑えたりする作用があるため、体重管理の面でも注目されています。



しかし最近では、テレビや SNS など「GLP-1 ダイエット」という言葉を耳にすることも増えてきました。ただし、GLP-1 製剤はあくまで糖尿病の治療薬であり、「痩せる薬」として作られたものではありません。お薬の作用によって食欲が抑えられる一方で、使用のはじめには吐き気やむかつき、腹部の不快感が出ることがあります。また、非常にまれですが、急性膵炎という病気が起こることも報告されています。お腹の強い痛みや長く続く吐き気がある場合には、早めの受診が大切です。気になることがあれば、医師や薬剤師にご相談ください。

糖尿病治療薬は日々進歩していますが、どのお薬が合うかは人それぞれで、特徴や注意点を知っておくことが大切です。みなさんの健康を守るために、これからもわかりやすくお役に立てる情報をお届けしていきます。どうぞお気軽に医師や薬剤師にご相談ください。（薬局）





最新MRI | 技術：迅速・快適・高精度な診断

中央放射線室 丹羽 正蔵

最新の MRI 検査技術は、患者さんにとって**より速く、より快適で、より正確な診断**を提供するために大きく進化しています。

ここでは、当院が導入した最新の MRI 装置（Sola fit: シーメンス社）に搭載されている主な技術を分かりやすくご説明します。

1. BioMatrix テクノロジー：

患者さん一人ひとりに合わせた快適な検査

最新の MRI 装置は、「BioMatrix テクノロジー」という、患者さん個人の体の特性や違いを考慮した精密な医療（プレジジョン・メディシン）の概念に基づいています。この技術は、検査の準備にかかる負担を大幅に軽減します。

準備の時間が不要に

これまでの MRI 検査では、呼吸の動きを測定するための呼吸ベルトや、心臓の動きを同期させるための心電図用デバイスを装着する必要がありました。しかし、BioMatrix テクノロジーの「Respiratory Sensor」により、これらのデバイスのセッティングが不要になりました。装置が自動的に、寝台に寝ている患者さんの呼吸や心拍による臓器の動きを認識し、検査に使用することができます。

迅速なポジショニング

新たに開発された軽量で柔軟なコイル（BioMatrix Contour coils）を使用しており、さらに「BioMatrix Position Sensor」という機能により、GPS のような機能でコイルの位置情報を自動認識します。AI（人工知能）が撮像位置を自動で認識するため、ワンタッチで撮像のポジショニングが完了し、検査の準備が大幅に迅速化されます。また、「BioMatrix Select&GO」により、テーブルサイドで検査に必要な情報を簡単に選択し、スムーズに検査に移行できます。

2. Deep Resolve と Turbo Suite：

検査時間の劇的な短縮と高画質化

MRI 検査の進化で最も大きなメリットの一つが、検査時間の短縮と画質の向上です。

検査時間を最大 50% 短縮

「Turbo Suite」という高速撮像パッケージは、複数の先進技術を統合的に組み合わせることで、検査時間を最大で 50% 短縮することが可能になりました。

AI による高画質化（Deep Resolve）

「Deep Resolve」は、最先端の AI（Deep Learning）を用いた画像再構成技術です。この技術には、画像のノイズ（ざらつき）を効率的に減らす機能（Deep Resolve Gain/Boost）と、細部まで見える能力（空間分解能）を向上させる超解像技術（Deep Resolve Sharp）があります。特に「Deep Resolve Boost」は、高倍速で撮像しても、パラレルイメージングによるノイズの上昇を効率的に抑えることができます。これにより、検査時間を短縮しながらも高い画質を保つことができ、呼吸や体動による画像のブレ（アーチファクト）に対しても、安定した質の高い画像を得やすくなります。頭部や脊椎検査などにおいても、この技術により、高速化と高分解能な画像取得が両立されています。

当院では、最新の MRI 技術を活用し、患者さんにとって「速く、楽で、安心できる検査」と「正確な診断」の両立を目指しています。これからも、質の高い医療の提供に努めてまいります。



「MAGNETOM Sola Fit」

病院食 **こんだてじまん**



栄養管理室は、「安心・安全な食事」「治療に役立つ食事」「おいしくて楽しみのある食事」「旬の食材を使用した食事」「手作りの食事」の提供を目標として、給食管理・栄養管理に努めています。
 病院食の一例をご紹介します。



～行事食～

ひな祭り (3月)



ちらし寿司 / 筑前煮
清汁 / ひなあられ

スタミナ丼 (8月)



スタミナ丼 / 華風酢の物 /
ワカメスープ / すいか

クリスマスデザート
～小児病棟～
(12月)



季節を感じ食事を楽しんでいただけるよう、お正月のおせち料理・ひな祭り・こどもの日・七夕・クリスマス等毎月1回、行事食を実施しております。写真はひな祭り・酷暑の夏のスタミナ丼・クリスマス手作りケーキです。



～特別食～



特別食は、塩分制限をはじめ様々な制約があるため、献立内容がワンパターンになりがちですが、今回、特別食を召し上がられている一部の患者さんに、握りずしを提供させていただきました。

いつもとは少し違う献立内容で、患者さんにも喜んでいただけたのではないかと思います。

握りずし (えび・卵・稲荷) / 野菜炒め / 清汁 / 和菓子

食事時間が入院生活での楽しいひと時となり、量・味付け・バランスなどにおいて、おいしくて健康的な食習慣の見本として役立てて頂けたらと思います。また、退院後も食事療法が必要な患者さんには、「栄養相談」「調理実習(糖尿病)」等において、継続した適切な食生活のサポートをさせて頂いております。



(栄養管理室)

もの忘れ治療は変わる？ ～抗アミロイドβ抗体薬～

脳神経内科 大山 哲弥

はじめに

アルツハイマー病の新しい治療薬が登場しました。これまでの薬と違い、根本的な病気の原因に対して作用する薬です。ただし、すべての方が使えるわけではありません。効果と限界、通院の負担、安全性。これらをきちんと理解して、ご家族と一緒に考えることが大切です。

軽度認知障害（MCI）をご存じですか

MCI とは、正常ともの忘れの間の段階です。日常生活はほぼ問題なく送れます。でも「あれ？最近もの忘れが増えたかな」と感じる場合があります。同じことを何度も聞いてしまう。約束を忘れやすくなった。こんな変化に、ご本人やご家族が気づく段階です。

アルツハイマー病と新しい薬のしくみ

アルツハイマー病では、脳にアミロイドベータというタンパク質がたまりまます。このタンパク質が神経細胞を傷つけ、記憶や判断力が少しずつ低下していきます。新薬は、このアミロイドベータを減らす働きがあります。病気の原因に直接アプローチする、新しい治療法です。

どんな方が対象になるの？

この薬が使えるのは、軽度認知障害（MCI）から軽度のアルツハイマー病の方です。つまり、もの忘れはあるけれど、身の回りのことは自分でできる段階の方々です。定期的な通院ができることも大切です。また、持病や他の薬との相性も確認が必要です。



期待できること、できないこと

治療により、記憶力や生活動作の低下スピードを緩やかにできる可能性があります。しかし、大切なことがあります。この薬は病気を完全に治すわけではありません。症状を元に戻すこともできません。効果には個人差があり、すべての方に同じ効果が現れるわけではないのです。



通院と費用のこと

2週間または4週間ごとに、点滴のために通院が必要です。治療期間は約1年半が目安となります。保険が適用されます。ただし、自己負担額は年齢や所得によって変わります。

安全性について知っておきたいこと

一部の方に、脳のおくみや小さな出血が起こることがあります。多くは症状がないか、あっても軽く、自然によくなります。ただし、頭痛やふらつき、ぼんやりする感じが出ることもあります。安全のため、定期的にMRI検査を行い、必要があれば薬を中止します。

おわりに

新しい治療法は、すべての方に最適というわけではありません。効果、負担、リスク、これらをしっかり理解した上で、その方にとっての最良の選択を見つけることが大切です。もの忘れが気になった方は、まず、かかりつけの先生にご相談ください。一人ひとりに合った治療を、一緒に考えていきましょう。

医療と福祉

“ほっと”
ニュース

ご存じでしょうか？

ウィッグや乳房補正具などの購入費用の助成

がん治療に伴う外見の変化（脱毛、皮膚や爪の変化、手術痕など）による、身体的・心理的・社会的な苦痛を軽減するためのケアを、アピランスケアといいます。

がんの治療を受けている方が、治療を受けている間も自分らしく日常生活を送ることができるよう、治療による外見の変化をカバーするアピランスケア用具の購入費用の助成が受けられます。

対象となるアピランスケア用具

- ・ウィッグ及び装着に必要な頭皮保護用ネット
（購入時に理美容室で行うウィッグのカット費用も対象となります）
- ・補正下着等の乳房補正具
（乳房再建術等によって体内に埋め込まれたものを除きます）
- ・乳がん用バスタイムカバー
- ・爪などに生じる症状を予防や軽減するためのフローズングローブ・フローズンソックス



申請方法等

- 助成は三重県および一部の市町が行っています。
- 下記の市町にお住まいの方は、市町が申請先になります。（2025年7月現在）
桑名市・いなべ市・木曽岬町・川越町・亀山市・伊賀市・
松阪市・大紀町・伊勢市・玉城町・御浜町
それ以外にお住まいの方は、三重県が申請先になります。
- 助成金額、要件等は、三重県・各市町により異なります。
詳細については、ホームページや該当する申請窓口にご確認ください。



三重県 ウィッグ 補助

■医療福祉サービスや他の医療機関のご利用、在宅療養についてお困りの場合

地域連携・医療相談センター「サルビア」(がん相談支援センター)へご相談下さい。

相談日時:月曜～金曜(祝日除く)／9:00～16:00(予約制) TEL354-1111(代表) 内線5185